

平成30年度 第3回 いじめ実態調査

4月～2月末

全校

資料2

1 いじめ実態把握のための調査方法 【校】

	小学校	中学校
ア アンケート調査	16	9
イ 教育相談（面談）	16	9
ウ 生活記録相談ノート等	7	7
エ 相談ポスト	7	2
オ その他	4	0

【いじめの定義】

児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの

2 いじめの認知状況

【認知件数】

【件】

【参考】29年度4月～2月末調査結果

		すべて	定義
小学校	すでに解消しているもの	298	268
	一定の解消が図られたが継続支援中のもの	152	134
	解消に向けて取組中のもの	67	62
	合計	517	464
中学校	すでに解消しているもの	336	218
	一定の解消が図られたが継続支援中のもの	102	94
	解消に向けて取組中のもの	71	60
	合計	509	372

すべて	定義
103	96
145	124
55	45
303	265
154	66
85	77
54	43
293	186

【認知状況分布】

【校】

	0件	1～5件	6～10件	11～15件	16～20件	21～25件	26～30件	31件以上
すべて(小)	0	0	1	7	1	1	1	5
定義(小)	0	0	2	6	2	1	1	4
すべて(中)	0	0	0	2	1	1	0	5
定義(中)	0	1	0	1	1	1	2	3

3 いじめの事実を最初にどのようにして見つけたか

【件】

	小学校		中学校		
	すべて	定義	すべて	定義	
学校	学級担任	73	65	11	8
	担任以外の教職員	5	5	3	1
	カウンセラーや相談員	3	3	0	0
	養護教諭	2	2	7	6
	アンケート調査	170	145	129	91
学校以外	本人から	169	154	274	190
	本人の保護者から	65	63	33	32
	他の児童生徒から	26	20	51	43
	他の保護者から	4	4	1	1
	第三者から	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
合計	517	461	509	372	

4 学校が行ったいじめ問題に対する日常の取り組み

【校】

	小学校	中学校
職員会議等で教職員の共通理解	16	9
道徳・学活等で取り上げ指導	15	7
全校集会・学年集会等で指導	14	8
児童・生徒会活動等を通していじめ問題を考えさせる	3	1
人間関係づくりや仲間づくりを促進する活動	15	9
カウンセラー、相談員、養護教諭による相談	12	8
教育相談体制などの校内組織の整備	15	8
学校以外の相談窓口の周知など専門機関との連携	7	5
いじめ対応方針や指導計画の外部への公表	10	7
P T A・地域関係団体とともにいじめ問題について協議	1	3
地域の関係機関との連携協力	2	2
学級通信・学年通信・学校通信等での取り扱いによる意識高揚	2	4
その他	1	1

5 校内いじめ対策委員会の開催数

【校】

	1回	2回	3回	4回	5回以上
小学校	1	2	7	0	6
中学校	0	1	5	0	3